



DX戦略2026

有限会社 有田産業

2026年5月12日

取締役会承認



1. DX取組宣言

有限会社有田産業は昭和34年の創業以来、鹿児島県を中心に水環境の改善・維持管理業務等を通して地域社会に貢献してまいりました。

しかし、浄化槽管理業界は深刻な人材不足と、紙ベースの煩雑な報告業務による長時間労働という構造的な課題を抱えています。鹿児島県は九州地方の中でも技能労働者の減少率が高く、このままでは地域の水環境インフラを守ることが困難になりかねません。

当社は、HP作成、サーバー構築、AIチャットボットの開発等を外部委託せず自社で手がける「DIY型DX」により、現場や事務の効率化を進めてきました。そして、2026年4月からは5年前の社長就任時における「日給月給制」「日曜のみ休み」「17:00退社」から「月給制」「土日祝休み」「16:30退社」を実現。社員が家族との時間を大切にしながら、誇りを持って水環境インフラを守る会社を目指しています。

デジタルの力で業務を再定義し、社員が家族との時間を大切にしながら、地域の水を守る仕事に誇りを持てる環境を創造する。有田産業は、この仕事を「次世代が憧れる職業」へと変える挑戦を、これからも続けてまいります。

有限会社有田産業
代表取締役 岩坪 克弥



2.1 経営理念・経営ビジョン

【経営理念】

水をキレイに。

つながる人・まち 彩りあふれる躍動都市・かごしまへ

【DX経営ビジョン】

「デジタル技術の積極活用により、地域インフラを守り、現場の生産性と安全性を最大化する」

浄化槽業界が抱える人材不足と長時間労働という構造的課題に向き合い、このビジョンを実現するため、当社は外部委託に依存せず自社で設計・構築・運用する「DIY型DX」を推進方針としています。スピードと低コストで現場の実態に合わせたデジタル化を進め、アナログ作業を削ぎ落として創出した時間を働き方改革に充てることで、社員が誇りを持って働き、次世代が憧れる職業として地域の水環境インフラを守り続ける会社を目指しています。



3.1 DX戦略

戦略① 現場業務のスマート化とビジネスモデルの転換

タブレット端末による顧客管理・電子黒板、Googleマップを活用した顧客・動態管理、AIチャットボット「AIしのちゃん」（Claude API連携）による技術支援を導入し、現場や事務負担を削減。蓄積された現場データを活用し、データに基づく最適な維持管理を行う次世代型ビジネスモデルへ転換。

戦略② 社内DXによる組織力強化と人材育成

QRコードやマクロ、社内チャット、AIチャットボット、YouTube教育基盤で業務効率化と若手育成を実現。外部委託した場合の市場相場との差額を「DIY利益」として定義し、内製化貢献を可視化する独自指標として活用する。今後は、AIボット「AIしのちゃん」から鹿児島弁で毎朝業務クイズを配信する「双方向型マイクロラーニング」を新たに開発し、全社員が能動的に学ぶ自律的な環境を構築する。



3.2 DX戦略

戦略③ 堅牢なIT基盤と事業継続性（BCP）の運用

Synology NAS＋クラウドの自動バックアップと、UTMによる多層防御ネットワークを構築。さらに自社構築の遠隔監視カメラによる安全管理を組み合わせ、災害・サイバー攻撃時にも速やかな業務復旧が可能な堅牢なBCP体制を維持。

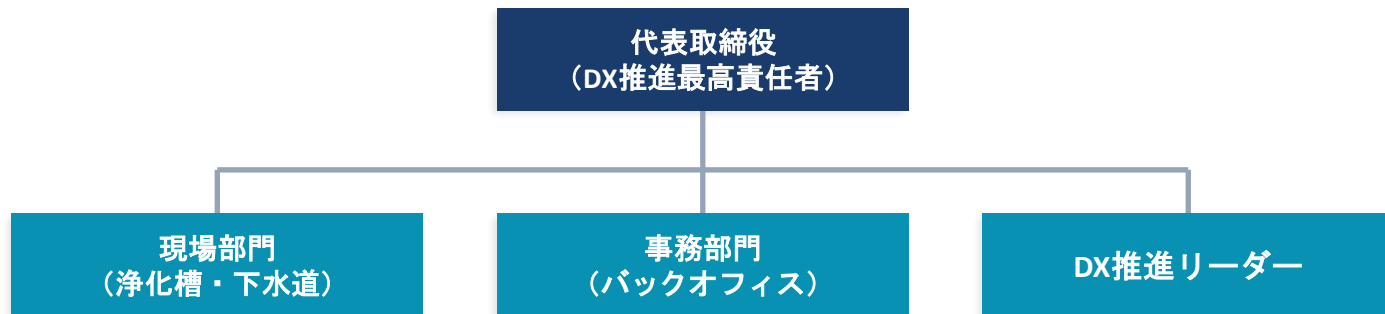
戦略④ 働き方改革とDXによる採用力強化

デジタル基盤の整備等による生産性向上を背景に、旧来の「日給月給制・日曜のみ休み・17：00退社」から「月給制・土日祝休み・16:30退社」を実現。DXと働き方改革を前面に出した採用ブランディングで、業界の慢性的な人材確保課題を解決。



4. DX戦略推進体制

当社は、代表がDX推進の最高責任者として、IT基盤の設計・開発・運用を一貫して担っています。また、意思決定から実装までのスピードと柔軟性、持続可能な低コストを両立しながら、現場・事務への浸透と実務レベルでの改善を加速させるため、「DX推進リーダー」を設置しています。



代表やDX推進リーダーを中心に、AIチャットボット「AIしのちゃん」（Claude API連携）やYouTube教育コンテンツを活用した「双方向型マイクロラーニング」により、現場・事務の全社員が日常業務の中でデジタルスキルを習得できる体制を構築している。



5. デジタル技術及び環境整備

当社は、外部ITベンダーへの依存を極力抑え、自社でデジタル技術及び環境整備の設計・構築・運用することを基本方針として、以下のIT基盤を整備・運用しています。既存システムの見直しを定期的を実施し、デジタル利用環境の継続的な改善に取り組んでいます。

★自社構築・内製

カテゴリ	導入済みシステム・ツール
ネットワーク・サーバー	社内NAS (Synology) ★、VPN環境★、UTM多層防御★
AI・チャットボット・社内チャット	AIチャットボット「AIしのちゃん」(Claude API連携) ★、社内チャット「しのちゃん」★
現場ツール	タブレット端末、電子黒板、Googleマップ顧客・動態管理★
バックオフィス	TKC FX4クラウド、デュアルモニタ環境★、QRコード報告・申請システム★、マクロ・関数活用★
教育・ナレッジ	YouTube教育コンテンツ★、AIチャットボットによる技術Q&A★
BCP・バックアップ	NAS+クラウド併用自動バックアップ体制★、ネットワーク型監視カメラ(Synology)★



6. 数値目標 (KPI)

戦略	取組内容	期限	目標値
①現場スマート化	現場報告書デジタル化 AIチャットボット活用 顧客管理クラウド化	2027年まで 継続測定 2026年度中	・紙帳票移行率90% ・利用回数増加 ・全面運用完了
②組織力・人材育成	YouTube教育コンテンツ制作 DIY利益の可視化 事務作業環境の最適化 AIによる双方向の学習システム構築	継続実施 継続実施 継続実施 2026年度中	・コンテンツ10%増 ・年間320万円以上維持・拡大 (3年後384万円) ・作業環境向上や関数・マクロ 活用による自動化を推進 ・月間平均回答率80%以上
③IT基盤・BCP	NAS・VPN安定稼働 データ保護の確実性 Synology Chatによる社内連絡の非同期化率推進	継続測定 運用中 継続測定	・稼働率99%以上 ・自動バックアップ維持 ・1日平均利用件数50件以上
④働き方・採用	16:30退社の定着 自社採用サイトによるDX戦略の情報発信	2026年4月～ 継続実施	・全社員の16:30退社、実施率 90%以上の維持 ・DX関連等コンテンツ（プロ グ・NEWS・instagram等）を定 期更新しWeb応募者数を前年比 増



7. 代表取締役によるDX推進メッセージ

有限会社有田産業の代表取締役、岩坪克弥です。当社は昭和34年に創業し、65年以上にわたり鹿児島の水環境を守ってまいりました。私で三代目となりますが、先代から受け継いだ技術と経験に加え、デジタル技術の力で現場を変えることに挑戦しています。

DXの第一歩は3,808行×87列—約33万セルにおよぶ顧客・浄化槽・点検データを、私自身が半分、入社してくれた社員と半分ずつ、手入力するところから始めました。この地道な作業が現在のすべてのデジタル基盤の礎になっています。

その土台の上に、自社ホームページの制作、顧客情報のGoogleマップ実装による巡回最適化、Synology Chat「しのちゃん」の作成、チャットボット「AIしのちゃん」の開発、VPN環境の設定、NASを活用した遠隔監視カメラシステムの構築、会社キャラクター「ありたん」「しのちゃん」のLINEスタンプ制作、YouTubeへの技術教育動画の作成—これらを自社で構築してきました。

そして、2026年4月からは5年前の社長就任時における「日給月給制」「日曜のみ休み」「17:00退社」から「月給制」「土日祝休み」「16:30退社」を実現。社員が家族との時間を大切にしながら、誇りを持って水環境インフラを守る会社を目指しています。

鹿児島の水を守る仕事を、次世代が憧れる職業に変える挑戦を、これからも続けてまいります。

2026年5月12日

有限会社有田産業 代表取締役 岩坪 克弥



8. セキュリティ

当社は、情報セキュリティ基本方針をHPに公表し、SECURITY ACTIONの二つ星宣言を行い、NASへのVPNアクセス制御やUTMによる多層防御など、社内の情報セキュリティの体制を整備して、重要な情報資産の保護に努めております。



9. DX推進指標 自己診断フォーマット

当社は、DX推進指標 自己診断フォーマットを作成し自社の現状を把握したうえで、今後のDX推進に努めてまいります。自己診断フォーマットは、IPAの自己診断入力サイトにアップロード済です。